

NEWS RELEASE



島根銀行

(総合企画グループ)

〒690-0003 松江市朝日町 484 番地 19

2026年2月12日

TEL (0852) 24-1234 代表

中海・宍道湖・大山圏域インバウンドの人流・意向調査結果概要の発行について

株式会社 島根銀行（頭取 長岡 一彦）は、一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局（会長 田部 長右衛門）、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 地下 誠二）、DBJ デジタルソリューションズ株式会社（代表取締役 新崎 恭史）、株式会社山陰合同銀行（取締役頭取 吉川 浩）、および株式会社鳥取銀行（取締役頭取 入江 到）と、「中海・宍道湖・大山圏域インバウンドの人流・意向調査結果概要」を発行いたしましたので、お知らせいたします。

当行は地域金融機関として、山陰エリアの更なる地域価値の向上にむけた観光地づくりに取り組むことで、山陰エリアの持続的な成長・発展に貢献して参ります。

記

1. 中海・宍道湖・大山圏域インバウンドの人流・意向調査結果概要について

本件は、2025年1月に締結された「中海・宍道湖・大山圏域における観光ビッグデータ等を活用したインバウンド誘致推進に関する連携協定」に基づき、観光ビッグデータ等を活用して人流・移動状況等の調査結果について情報発信すると共に、観光関連事業者とも意見交換することで圏域のインバウンドによる観光消費額の拡大に向けた取り組みをサポートすることを目的としてまとめたものです。

2. 調査分析の対象エリア

中海・宍道湖・大山圏域 5市7町村

○島根県…松江市、安来市、出雲市

○鳥取県…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

3. 調査結果の主な内容

- 圏域を訪れるインバウンドの大半は、圏域内にとどまらず鳥取・島根両県を幅広く含めた旅程を組んでおり、さらに山陽、近畿も併せて訪問している割合が相応に高い。また圏域内では、松江・出雲・安来は訪問地選択率が高く、米子は宿泊地選択率が高い。それぞれの特性や強みを生かした地域間連携が重要となろう。
- 圏域への訪問意向が高いとみられるインバウンドの入出国経路としては、国際線が就航している域内空港の利用割合が多い結果となった。国・地域別でみても、運行便数等との関連や、主要な拠点空港と圏域を結ぶアクセスの問題等が背景にあると伺える。交通手段については従前より課題と認識されてきたが、ハード面もさることながら、乗換や接続等のルート案内や手配の支援、交通をセットにした旅行商品開発支援、移動行程中の満足度を高める工夫等、ソフト面での対策も求められる。
- 国・地域別に圏域来訪インバウンドの総消費額を見ると、中国が一番高い結果となった。一方、米国・フランスは総消費額は平均を下回るもの、一日当たり消費額は平均並みであり、

また満足度も高い結果となったことから、圏域内での滞在日数の長期化を促すことにより総消費額も増加する可能性がある。

【中海・宍道湖・大山圏域インバウンドの人流・意向調査結果概要】外部リンク

https://www.dbj.jp/topics/investigate/2025/html/20260212_206329.html

以上

本件に関するお問い合わせ

島根銀行 企業支援室

担当：仙田 TEL (0852) 24-1278